

# 感 覚 社 既 刊 案 内

www.kankakusha.com

[ノンフィクション]

## リビア戦争 カダフィ殺害誌

マクシミリアン・フォーテ 著 山田文 訳

四六判並製528頁 本体価格4300円+税 2021年4月刊行

2011年、カダフィはなぜ殺されたのか？

リビアへの「人道的介入」の嘘を豊富な資料で解き明かす。

大量破壊兵器の開発計画を放棄し欧米と和解していたはずのリビアの革命指導者ムアンマル・カダフィ。2011年、そのカダフィが「アラブの春」の反乱と欧米諸国の「人道的介入」を受け、残虐に殺害されるに至った背景には何があったのか。

本書は、豊富な資料を駆使して、欧米の「人道的介入／保護する責任」の虚構を暴き、NATOの軍事介入の真の目的を明らかにする。また、欧米の国際人権NGO、メディア、左派がその戦争の遂行に果たした役割を検証する。オバマ以降の戦争を読み解くための最初の一冊。

[内容の一部]

はじめに リベラル帝国主義と新たなアフリカ争奪戦

第四章 アフリカに対する戦争

第一章 シルテ——リビア独立の要石

——AFRICOM、NATO、人種差別

シルテ、新しい汎アフリカ主義、アメリカの監視

第五章 人道主義と緊急事態の創出

第二章 シルテ——帝国主義の試金石

アムネスティ・インターナショナル対リビア

シルテでカダフィを追う

おわりに 余波——アフリカとの新しい戦争

第三章 リビアの汎アフリカ主義とそれへの不満

帝国か尊厳か

マンデラとカダフィ——道義的汎アフリカ主義

(地図、年表、多数写真掲載)

[著者] マクシミリアン・フォーテ

カナダ・ケベック州モントリオールのコンコルディア大学社会・人類学部教授。大学では政治人類学を教えており、おもに帝国主義／ナショナリズム／(脱)グローバリゼーション／先住民族運動の理論と歴史を研究している。

[訳者] 山田文

訳書にダレン・マクガーヴェイ『ポバティー・サファリ イギリス最下層の怒り』(集英社)、ヴィエト・タン・ウェン編『ザ・ディスプレイスト 難民作家18人の自分と家族の物語』(ポプラ社)ほか。

ご注文は感覚社FAX: 03-3235-6182 まで

BookCellar (<https://www.bookcellar.jp>) もご利用いただけます

注文カード	流通センター 取扱い品 FAX:03-3235-6182	書店名	発行所	感覚社 TEL03-5324-2338 FAX03-4586-7390	冊
			書名・著者名	リビア戦争 カダフィ殺害誌 マクシミリアン・フォーテ 著／山田文 訳 本体価格4300円+税 ISBN 978-4-909828-00-2	